

**山梨県歯科医師連盟****連盟ニュース 第70号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手1-4-1

TEL: 055-252-6481 FAX: 055-253-0854

□発行人 一瀬 明 HP: <http://ydpf.jp>

□編集人 一瀬 明・馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

## 『山田宏山梨県後援会』総会が開催される 山田宏氏熱く抱負を語る！！

令和4年6月17日(金)19時から山梨県歯科医師会館3階ホールにて開催されました。また、次期参議院選挙立候補予定者である永井 学 氏も駆けつけ挨拶を行いました。

来賓の挨拶の後、**山田宏氏**が挨拶を行いました。挨拶の中で山田氏は、「今回の参議院選挙は、私にとって極めて大事な選挙であります。歯科界にとっても勝負時の選挙です。何としてもここは勝ち昇り、その中でしっかりと約束を果たし、歯科の明日を明るくすることを通じて日本の将来の扉を開く、これが私の決意です。この6年の間、私は歯科医師ではないが、これまでの歯科医師出身の組織代表の方々が成し得なかったいくつかの突破口を開いてくれました。そして、次の6年間で初再診療の医科歯科格差を解消させなければいけないと思っています。これも歯科の評価が変わってくると解消される。そのためにも『国民皆歯科健診』を実現する。今回当選して次の参議院選までの3年間に『国民皆歯科健診』の設計図を書き、ロードマップを作っていく。これが私の仕事です。」と、力強く述べました。

これまで**山田宏氏**は歴代組織代表のなしえなかった歯科のいくつかの課題について解決をされた。

- ① 50年以上続いた不当な『40円ルール』の解消 (2017年)
- ② 「骨太の方針」に『歯科』が明記され、歯科予算が4倍になる。(2017～2022年)

### <山田宏氏の注目すべき活動>

- ① コロナ対策、金パラ問題、初再診療料格差を国会で厳しく追及
- ② 菅総理大臣(当時)にコロナ禍での歯科の重要性を訴える (2021年3月予算委員会)
- ③ 金パラ、初再診療料医科歯科格差問題を訴える (2021年6月厚労委員会)

### ※国民皆歯科健診実現へ

令和3年通常国会最終日6月16日に自民党国会議員156名参加のもと、『国民皆歯科健診で健康寿命と適正な国民医療費を実現する国民歯科健診実現議連』が発足。

令和4年6月7日経済財政運営と改革の基本方針2022(骨太方針2022)が経済財政諮問会議での答申を経て閣議決定された。『国民皆歯科健診の具体的な検討』や市場価格に左右されない歯科材料の導入を推進などが新たに明記された。

これらの活動の中心に**山田宏氏**はおり、我々の業界にはなくてはならない政治家です。